

研究区分	教員特別研究推進 国際共同研究・国際交流の推進
------	-------------------------

研究テーマ	「健康長寿」に関する COIL 教育を通じたカリフォルニア大学デービス校との国際連携の新規開拓事業				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	黒川 洵子
	研究分担者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	森本 達也
		所属・職名	薬学部・准教授	氏名	坂本 多穂
		所属・職名	薬学部・講師	氏名	山崎 泰広
		所属・職名	薬学部・講師	氏名	刀坂 泰史
		所属・職名	薬学部・講師	氏名	砂川 陽一
		所属・職名	薬学部・助教	氏名	山口 賢彦
		所属・職名	薬学部・客員教授	氏名	渡邊 泰秀
		所属・職名	カリフォルニア大学デービス校・助教授	氏名	Igor Vorobyov
		所属・職名	カリフォルニア大学デービス校・教授	氏名	Colleen E Clancy
		所属・職名	カリフォルニア大学デービス校・助教授	氏名	佐藤 大輔
	発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	黒川 洵子

講演題目	カリフォルニア大学デービス校との COIL 型教育に基づく健康長寿社会実現のための AI 応用の新規開拓事業
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>本研究の目的は、本学が上智大学・お茶の水女子大学とともに進めている文部科学省「大学の世界展開力強化(COIL)事業」を通じて、米国側指定校カリフォルニア大学デービス校と本学との国際連携をより実質的で強固にして世界への発信力を高めるために、静岡県重要な産業である「茶」に関する国際共同研究を新規に開拓そして展開することである。</p> <p>QS世界ランキング農林部門1位を誇るカリフォルニア大学デービス校とは、グローバルCOEプログラムの海外連携教育研究拠点としての交流を経て、2011年に大学間連携協定が締結されて以来、毎年数名の学生・研究者が行き来し、グローバル人材の養成に貢献してきた。今回、COIL型教育でオンラインを活用することにより、さらに国際交流を発展させることを目指した。今年度はこれまでのCOIL教育の経験を踏まえて、「健康長寿」の鍵となる循環器パラメータのビッグデータを扱う専門性が高い人材の育成を目指したAI教育を実施した。下記に、本研究チームの主な活動成果を記述する。</p> <p>1) COIL型教育の実施: 大学院講義において、カリフォルニア大学デービス校の講師によるCOIL型授業を行った。今年度は、学生が自分自身の研究テーマを英語で説明する動画をあらかじめ授業内のホームページ(澤崎先生のセミナーで勉強したpadletを使用)にアップして、グループワークによる能動的なコミュニケーション力の醸成を図った。</p> <p>2) 研究教育への活用: 共同研究の打ち合わせにオンラインシステムを用いた。原著論文1編を発表した。 Aghasafari P, Yang PC, Kernik DC, Sakamoto K, Kanda Y, Kurokawa J, Vorobyov I, Clancy CE. eLife, 10, e68335 (2021)</p>